

## 中 組 「伊勢音頭」の歌詞

ここに示す歌詞は、調査の際に「得意な歌」「グループ独自の歌」「雰囲気を考えて歌う歌」などと依頼して、歌われた歌の歌詞である。

『伊勢音頭調査報告書』の中の「御坊祭の〈伊勢音頭〉」（以下、「報告書本文」）では、歌われた歌詞の「歌い出し」を記すことで表7にまとめ、歌詞の概観を行った。表7では、歌のふしの種類によって、「短い歌」「長い歌（紀小竹組にのみ、「ながうた」という独自の呼び名がある）」「つなぎ歌（引き継ぎ歌、受け取り歌）」をまとめて示したが、ここでは、収録の際の歌われた順に示している。（歌のふしの種類については、「報告書本文Ⅱの表3」参照）。

なお、表記は、歌詞は黒字で、囃しことばは、音頭取りを赤字で、乗り子を青字で行っている。

### 歌詞のみ（囃し無）

#### ◎歌い手（平成4年生）

短い歌：祝い目出たの 若松さまは 枝も栄えて 葉も茂る

短い歌：わしがお国は お伊勢から遠い お伊勢恋しや 詣りたや

長い歌：あいのお山には お杉とお玉よ お杉お玉のひく三味は 一をだるめて二で  
締めて 三で引き出す三下がり 縞さん紺さん中乗りさん 浅黄の股ひきや  
臍抜きさん どんがめ入りの脇差さん 白目絞まりの頬かぶり 一銭やりゃ  
んせ投（ほう）りゃんせ お杉お玉はここばかりよ

つなぎ歌：ぼくの音頭も これにて終わり あとはごせんせ（先生）に お頼みします

#### ◎歌い手（昭和37年生）

つなぎ歌：お受けしました 引き受けました 先のご先生（せんせ）に 負けぬように

短い歌：お伊勢詣りで この子ができて お名をつけましょ 伊勢松と

長い歌：ゆうべ見た夢 目出たい夢だ 白い鼠が三つ連れて 三つ又連れて六つ連れて  
小判くわえて金倉（かなぐら）へ 入るところの夢を見た

短い歌：さいた盃 中見ておくれ 中にゃしの字と 書いてある

つなぎ歌：ぼくの音頭も これにて終わり あとはご先生（せんせ）に まかせます

#### ◎歌い手（昭和50年生）

短い歌：おまえ百まで わしゃ九十九まで とともに白髪のはえるまで

短い歌：とろりとろりと 廻るは淀の 淀の川瀬の 水車

短い歌：沖の暗いのに 白帆が見える あれは紀の国 蜜柑船

長い歌：火事と喧嘩は お江戸の華だ あまた火消しのある中で 野狐三次は纏持ち  
背（せな）に白狐の入れ墨を 入れた入れ墨 男伊達

つなぎ歌：ぼくの音頭は これにて終わり あとはご先生（せんせ）に お頼みします

◎歌い手（昭和 37 年生）

つなぎ歌：お受けしますとも 引き受けますとも 声の続く限り 引き受けますよ

短い歌：岬かわせば 松原一目 何故に新町 松の陰

短い歌：今夜（こいさ）ここに寝て 明日の晩は何処で 明日は田の中 畔枕

長い歌：娘十七八 嫁入り近く 娘今度の嫁入りに 箆筒長持ち 鋏み箱 ついでに着物  
もどっさりと それだけ持たせてやるからにゃ 二度と戻らぬと思うなよ そこ  
で娘の云うことにゃ ととさんかかさんそりゃ無理よ 千石積んでる船でさえ  
西が曇れば雨とやら 東が曇れば風とやら 千石積んでる船でさえ 港出ると  
きやおいてでも 風の吹きよで 出て戻る

短い歌：さいた盃 中見てあがれ 中に鶴亀 舞を舞う

短い歌：安芸の宮島 廻れば七里 浦は七（なな）浦 七（なな）恵比須

## 歌詞（囃し有）

### ◎歌い手（平成4年生）

ヨーンヤッサイ ソラヤートコセ エエヨーイヤナ  
ハリバンヨーイ コレバンヨイ ソラヨーイートセ

サーヨーイサーエ祝い目出たのヨ ヨンヨイ 若松さまはヨ サーヨーイセーコラセ  
ソレー枝も栄えてヨーイソレ 葉も茂るヨ ソラヤートコセ エエヨーイヤナ ハリ  
バンヨーイ コレバンヨイ ソラヨーイートセ

サーヨーイサーエわしがお国はヨ ヨンヨイ お伊勢から遠いヨ サーヨーイセーコラ  
セ ソレーお伊勢恋しやヨーイソレ 詣りたやヨ ソラヤートコセ エエヨーイヤナ  
ハリバンヨーイ コレバンヨイ ソラヨーイートセ

サーヨーイサーエあいのお山には ヨンヨイ お杉とお玉ヨ サーヨーイセーコラセ  
ソレーお杉お玉のひく三味は ソレ 一をだるめて二で締めて ソレ 三で引き出す  
三下がり ソレ 縞さん紺さん中乗りさん ソレ 浅黄の股ひきや臍抜きさん ソレ  
どんがめ入りの脇差さん ソレ 白目絞まりの頬かぶり ソレ 一銭やりゃんせ投  
（ほう）りゃんせ ソレ お杉サーエお玉はヨーイソレ ここばかりヨ ソラヤート  
コセ エエヨーイヤナ ハリバンヨーイ コレバンヨイ ソラヨーイートセ

サーヨーイサーエぼくの音頭もヨ ヨンヨイ これにて終わりヨ サーヨーイセーコラ  
セ ソレーあとはごせんせ（先生）にヨーイソレ お頼みます ソラヤートコセ エ  
エヨーイヤナ ハリバンヨーイ コレバンヨイ ソラヨーイートセ

### ◎歌い手（昭和37年生）

サーヨーイサーエお受けしましたヨ ヨンヨイ ソレ引き受けましたヨ サーヨーイセ  
ーコラセ ソレー先のご先生（せんせ）にヨーイソレ 負けぬように ソラヤートコセ  
エエヨーイヤナ ハリバンヨーイ コレバンヨイ ソラヨーイートセ

サーヨーイサーエお伊勢詣りでヨ ヨンヨイ ソレーこの子がヨできてヨ サーヨーイ  
セーコラセ ソレーお名をつけましょヨーイソーレ 伊勢松とヨ ソラヤートコセ エ  
エヨーイヤナ ハリバンヨーイ コレバンヨイ ソラヨーイートセ

サーヨーイサーエゆうべ見た夢ヨ ヨンヨイ ソレー目出たいヨ夢だヨ サーヨーイセ  
ーコラセ ソレー白い鼠が三つ連れて ソレ 三つ又連れて六つ連れて ソレ 小判く  
わえて金倉（かなぐら）へ ソレ 入るサーエところのヨーイソーレ 夢を見たヨ ソ  
ラヤートコセ エエヨーイヤナ ハリバンヨーイ コレバンヨイ ソラヨーイートセ

サーヨーイサーエ さいた盃ヨ ヨンヨイ ソレー 中見てヨ おくれヨ サーヨーイセーコ  
ラセ ソレー 中にゃしの字と ヨーイソレ 書いてあるヨ ソラヤートコセ エエヨーイ  
ヤナ ハリバンヨーイ コレバンヨイ ソラヨーイートセ

サーヨーイサーエ ぼくの音頭もヨ ヨンヨイ ソレー これにてヨ 終わりヨ サーヨーイ  
セーコラセ ソレー あとはご先生（せんせ）に ヨーイソレ まかせますヨ ソラヤート  
コセ エエヨーイヤナ ハリバンヨーイ コレバンヨイ ソラヨーイートセ

ヨーンヤッサイ

～～～

◎歌い手（昭和 50 年生）

ヨーンヤッサイ ソラヤートコセ エエヨーイヤナ  
ハリバンヨーイ コレバンヨイ ソラヨーイートセ

サーヨーイサーエ おまえ百までヨ ヨンヨイ ソレー わしゃ九十九までヨ サーヨー  
イセーコラセ ソレー とともに白髪の ヨーイソレ はえるまでヨ ソラヤートコセ エ  
エヨーイヤナ ハリバンヨーイ コレバンヨイ ソラヨーイートセ

サーヨーイサーエ とろりとろりとヨ ヨンヨイ ソレー 廻るはヨ 淀のヨ サーヨーイセ  
ーコラセ ソレー 淀の川瀬の ヨーイソレ 水車ヨ ソラヤートコセ エエヨーイヤナ  
ハリバンヨーイ コレバンヨイ ソラヨーイートセ

サーヨーイサーエ 沖の暗いのに ヨンヨイ ソレー 白帆がヨ 見えるヨ サーヨーイセー  
コラセ ソレー あれは紀の国 ヨーイソレ 蜜柑船ヨ ソラヤートコセ エエヨーイヤ  
ナ ハリバンヨーイ コレバンヨイ ソラヨーイートセ

サーヨーイサーエ 火事と喧嘩はヨ ヨンヨイ ソレー お江戸のヨ 華だヨ サーヨーイセ  
ーコラセ ソレー あまた火消しのある中で ソレ 野狐三次は纏持ち ソレ 背（せ  
な）に白狐の入れ墨を ソレ 入れた ナーエ 入れ墨 ヨーイソレ 男伊達ヨ ソラヤート  
コセ エエヨーイヤナ ハリバンヨーイ コレバンヨイ ソラヨーイートセ

サーヨーイサーエ ぼくの音頭はヨ ヨンヨイ ソレー これにてヨ 終わりヨ サーヨーイ  
セーコラセ ソレー あとはご先生（せんせ）に ヨーイソレ お頼みます ソラヤート  
コセ エエヨーイヤナ ハリバンヨーイ コレバンヨイ ソラヨーイートセ

◎歌い手（昭和 37 年生）

サーヨーイサーエお受けしますとも ヨンヨイ 引き受けますとも サーヨーイセーコ  
ラセ ソーレ声の続く限りヨーイソレ引き受けますヨ ソラヤートコセ エエヨーイ  
ヤナ ハリバンヨーイ コレバンヨイ ソラヨーイートセ

サーヨーイサーエ岬かわせばヨ ヨンヨイ 松原ヨ一目ヨ サーヨーイセーコ  
ラセ ソーレ何故に新町ヨーイソレ 松の陰ヨ ソラヤートコセ エエヨーイヤナ ハリバ  
ンヨーイ コレバンヨイ ソラヨーイートセ

サーヨーイサーエ今夜（こいさ）ここに寝て ヨンヨイ 明日の晩は何処でヨ サーヨ  
ーイセーコラセ ソーレ明日は田の中ヨーイソレ 畔枕ヨ ソラヤートコセ エエヨ  
ーイヤナ ハリバンヨーイ コレバンヨイ ソラヨーイートセ

サーヨーイサーエ娘十七八 ヨンヨイ 嫁入りヨ近くヨ サーヨーイセーコラセ ソ  
ーレ娘今度の嫁入りに ソレ 箆笥長持ち鉄み箱 ソレ ついでに着物もどっさりと  
ソレ それだけ持たせてやるからにゃ ソレ 二度と戻ると思うなよ ソレ そこで娘  
の云うことにゃ ソレ ととさんかかさんそりゃ無理よ ソレ 千石積んでる船でさえ  
ソレ 西が曇れば雨とやら ソレ 東が曇れば風とやら ソレ 千石積んでる船でさえ  
ソレ 港出るときゃおいてでも ソレ 風のナーエ吹きよでヨーイソレ 出て戻るヨ  
ソラヤートコセ エエヨーイヤナ ハリバンヨーイ コレバンヨイ ソラヨーイート  
セ

ヨーンヤッサイ

～～～

ソラヤートコセ エエヨーイヤナ  
ハリバンヨーイ コレバンヨイ ソラヨーイートセ

サーヨーイサーエさいた盃ヨ ヨンヨイ 中見てヨあがれヨ サーヨーイセーコ  
ラセ ソーレ中に鶴亀ヨーイソレ 舞を舞うヨ ソラヤートコセ エエヨーイヤナ ハリバ  
ンヨーイ コレバンヨイ ソラヨーイートセ

サーヨーイサーエ安芸の宮島ヨ ヨンヨイ 廻ればヨ七里ヨ サーヨーイセーコ  
ラセ ソーレ浦は七（なな）浦ヨーイソレ 七（なな）恵比須ヨ ソラヤートコセ エエヨ  
ーイヤナ ハリバンヨーイ コレバンヨイ ソラヨーイートセ

ヨーンヤッサイ